

広報

ふんたん



Vol.29

【特集】

災害からまちを守る

2008年
6・7月号

【特集】
災害からまちを守る

平成7年1月17日未明、一瞬にして多くの尊い命を奪い、各地にかつてない被害をもたらした阪神・淡路大震災は、災害対策に多くの教訓を残すこととなりました。地震や台風などの自然災害は、私たちの想像を超える大きな力で襲いかかってきます。

中国・四川省大地震の被災地の状況や、岩手・宮城内陸地震による土砂災害などが報道されていますが、災害は、いつ私たちのまちで発生するかわかりません。今回の特集は、災害から人・まちを守る防災対策について考えます。

広報
なんたん
 もくじ

②	特集
	災害からまちを守る
⑩	平成19年度予算 下半期歳入・歳出執行状況
⑫	インフォメーション ・行財政改革の着実な推進のために ～7月1日から「総合政策課」を新設～ ・まちづくりは市民の皆さんとの対話から -17会場で地域別市政懇談会を開催-
⑬	この道☆ひと筋 ・春の叙勲・褒章受章者 ほか
⑭	行政トピックス ・明治国際医療大学スタート ほか
⑯	いきいき南丹 ・食中毒にご用心
⑰	ぶらりなんたん ・ブルーベリー美山
⑱	図書館へようこそ
⑲	人権の窓／環・境・市・民
⑳	みんなのひろば ・美山サイクルロード ほか
㉑	なんたんミュージアム

今月の表紙

6月8日、八木町南地区自治会と市消防団八木支団南分団による水防訓練が大堰橋上流の河川敷で行われました。水害に備えて園部消防署員から土のうの作り方や積み方を教わりました。

自助・共助・公助

災害が起こったとき、どうしたらよいでしょうか。

まず大事なものは「自助」です。「自分の身は自分で守る」これが防災の基本です。いざというときの備えや、正しい知識を持った行動が、自分自身を助けます。

そして「共助」です。自分の安全が確保できれば、次に助けを必要とする人の力になりましょう。あるいは、自分が助けてもらう立場になるかもしれません。地域住民が助け合うことで、災害の被害は軽減できます。そのためには、自分の住んでいる地域を知るということも大事です。避難場所や地域の危険個所など、地域住民で情報を共有しあい、災害に備えましょう。

最後に「公助」です。行政や消防などが日ごろから防災活動を行い、災害が発生すれば救助や支援を行います。しかし、災害が大きくなればなるほど、「公助」の機能が行き届かなくなる恐れがあります。そのためにも地域に密着した「共助」の活動が非常に重要です。

大切なのは、災害に対する一人一人の心構えです。日ごろから災害に関する正しい知識と十分な備えを心掛けましょう。

自分の身は自分で守る

地震が起こったら…。あなたの身を守るのはあなた自身です。目の前にある火災の元を断ち、家族や財産を守るのもあなた自身です。冷静に判断し、瞬時に最善の行動をとるためには、正しい知識と備えが必要です。一人一人が自分を守ることで、災害の被害も最小に食い止められるのです。こうした、自らが自分や家族の生命、財産を守る備えと行動を「自助」と呼びます。

家の中の危険を無くす

家の中を見渡してみましましょう。タンスなどの家具は、地震の時に転倒を防止する金具などで固定されていますか？窓や戸棚などのガラス戸は、割れると大変危険です。ガラス飛散防止フィルムを張るなどしましょう。

また、大雨や台風が近づいてから家屋を修理するのは大変危険です。点検・修理は日ごろの備えの一つです。そして避難経路を確認し、廊下や階段はいつも整理整頓して、逃げ道がふさがることの無いようにしましょう。

火災に備える

火災に備えて、台所など火の出

やすいところに、消火器などを備えましょう。いざというとき、お風呂の水も役に立ちます。

燃えやすいものを火の近くに置かないことはもちろん、カーテンを防火加工のものにしておくのもいいでしょう。万が一、火を使っているときに揺れを感じたら、すぐに消してください。消火器は設置場所、使い方、有効期限を確認しておきましょう。

家族で防災会議

いざ、災害が起きて避難が必要になったら、何をすればいいのでしょうか。火の始末、避難経路を確保する、非常持ち出し品を確保する…。やるべきことはたくさんあります。また、遠隔地で災害に



京都府で想定される地震被害

平成19年8月、京都府地震被害想定調査委員会が京都府周辺で発生する地震の震源となる断層を調査されました。調査によると、南丹市を通る「殿田-神吉-越畑断層」で地震が発生した場合、南丹市の一部で震度7を超える揺れが発生するとの結果が出ました。また、これ以外でも南丹市周辺の断層で地震が発生した場合、震度5弱から震度7の揺れが起こり、多くの被害が予想されています。

あつてしまうことも考えられます。家族が離れ離れになってしまった場合の連絡方法や、避難するときの家族の役割分担、災害時の対処法など、家族で防災会議を開きましょう。

参考として、9ページに防災チェックシートを掲載しています。一度、家族で災害への備えをチェックしてみてください。

自主防災組織で地域を守る

災害が発生したとき、被害を最小限にするためには、自分や家族だけが安全というだけでは本当の安全とは言えません。自分たちの住むまちが安全になり、はじめて自分や家族が安全になれるのです。安全で住みよいまちをつくるためには、日ごろから地域の連帯感を深めていくことが大事です。「共助」の基礎となる自主防災組織は、自主的に結成される組織として、災害発生時に行政機関が機能するまでの時間、自らの地域を守るために活動します。

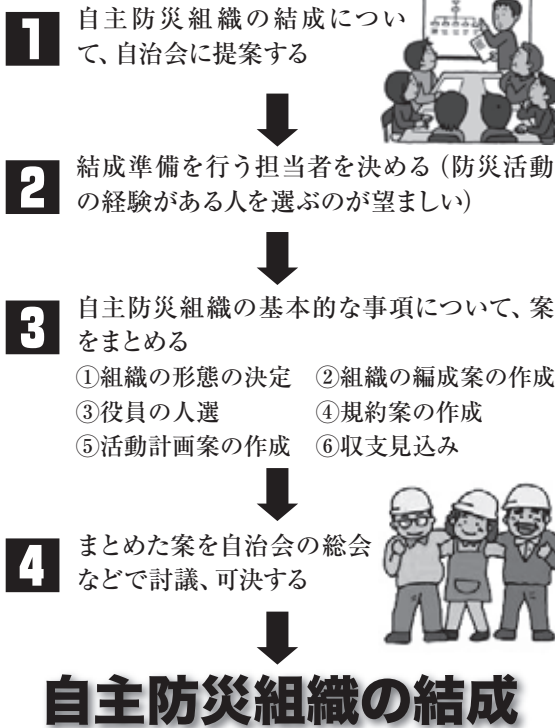
自主防災組織の作り方

町内会での消火器の点検・交換・消火訓練や地域での夜回り、回覧板での防火・防災のお知らせ

などを行っていませんか。これが自主防災活動なのです。「自分のちのまちは自分たちで守る」という意識をみんなが持つことが組織の結成の出発点になるのです。

自主防災組織の結成手順

※自治会などを利用して組織を結成する方法を事例に、具体的な結成手順を紹介します。



▲八木町南地区の水防訓練

自主防災組織の活動

組織を結成するというと大変に思われがちですが、自治会や町内会などの中に防災部などを設けて組織化する方法もあります。具体的な組織結成の手順などは、市役所総務課にご相談ください。規約や役割分担の例、自分たちの地域の防災マップ、市や消防署などと協力・支援できることなど、さまざまな知識や情報、活動の支援などをお手伝いします。

自主防災組織の活動には平常時と災害時の活動があります。下の表は西胡麻地区消防協力隊（日吉町）が行っておられる活動の事例です。

西胡麻地区消防協力隊の主な活動例

平常時の活動

- 防火啓発活動
- 独居老人世帯の把握
- 水利および水利組合役員の把握
- 消防協力隊員の確保
- 初期消火訓練の実施
- 普通救命講習会の開催(写真)
- 防火座談会の開催



災害時の活動

- 西胡麻地区消防詰所に待機し、消防団員と連絡を取り合って、必要な機材器具・物資を供給
- 消火栓などを使った初期消火
- 消防団・消防署が活動しやすいように現場の交通整理や水利への誘導
- 被災者の避難誘導
- 災害による被害を軽減するための初期活動

地震や風水害、火災などの災害が発生したときには、救出・救援活動や延焼防止のための初期消火活動、消防機関への支援、住民の避難誘導などを行います。また、平常時には防災啓発や消火・避難訓練、地域の消防施設の点検などを行います。

日ごろから「近所 ネットワークづくり

阪神・淡路大震災が発生したとき、北淡町（当時）では、自衛隊が到着したときには救助はほぼ終了していたそうです。それは日ごろから地域のつながりを強く持ち、人の所在を把握していたため住民自らが助け合い、効率的に救助ができたからだそうです。

八木町南地区では、緊急時の運搬車両や救護など具体的な役割分担を作り、災害に備える体制を確保するとともに、高齢者など避難の際に助けが必要となる方を把握して、住民のつながりを深めておられます。

日ごろからあいさつを交わすなど、気軽に声をかけ合い、近所同士のコミュニケーションをとっておくことが、いざというときに強い力を発揮します。

消防団OBを中心に住民間の 信頼と地域の連携を強化

西胡麻地区消防協力隊

隊長 平野 義男 さん



西胡麻地区消防協力隊は、平成11年6月に結成し活動を始めました。隊員は消防団員OBを中心に37人です。

結成するきっかけは、近年、地元消防団員の勤め先が広域になり、いざ地元で災害が起きたとき、すぐに消防団員が駆けつけてくるといふ体制がとりにくくなったことです。そこで、自主防災組織を日吉町で最初に結成。消防団OBが中心になったことで、これまでの消防団活動が生かされ、行政や消防署などの連携もとりやすく、結成後の活動もスムーズに行えました。

主な活動は、消防団による地域の防火活動や災害時の救援活動を後方支援することです。また、地元自治会や消防署と協力した、防火座談会や消火栓・消火器の取り扱い訓練などを行っています。いざ、災害が起こったなら、誰が地域を守ってくれるのでしょうか。行政や消防団だけを頼りにせず、まずは地域住民が一体となって災害に立ち向かう体制が必要だと思っています。今後も住民間の信頼と地域の連携を強化しながら、万が一の場合に備えたいと思います。

「自分たちの地域は、 自分たちで守る」を合言葉に

八木町南地区自治会

会長 益田 莞爾 さん



八木町南地区自治会には水防要員の組織があります。昭和28年に受けた水害を教訓に、その翌年に先輩方が結成されたのが始まりです。

現在、各区から選出した100人の要員がいます。毎年1回、6月に地元消防団と一緒に園部消防署の指導で土のう積みの水防訓練を行っています。また、出動などのサイレン信号の種類や集合場所、電話が不通になった場合の伝令方法、住民の避難場所などの確認も行います。

平成16年の台風23号の災害時に

は、一部の地区の水防要員が八木町（当時）の要請を受けて出動し、地域を守りました。南地区の住民は、防災に対する意識が高いと思います。緊急時の役割分担や、助けが必要となる方々の把握、地域に住んでおられる医師や看護師などの連絡体制など、区ごとに確認表を作成して有事に備えるとともに、市役所との連携も図っています。

このような自主防災の活動が広がっていくことを願い、「自分たちの地域は、自分たちで守る」を合言葉にがんばっています。

市民の生命と財産を守る

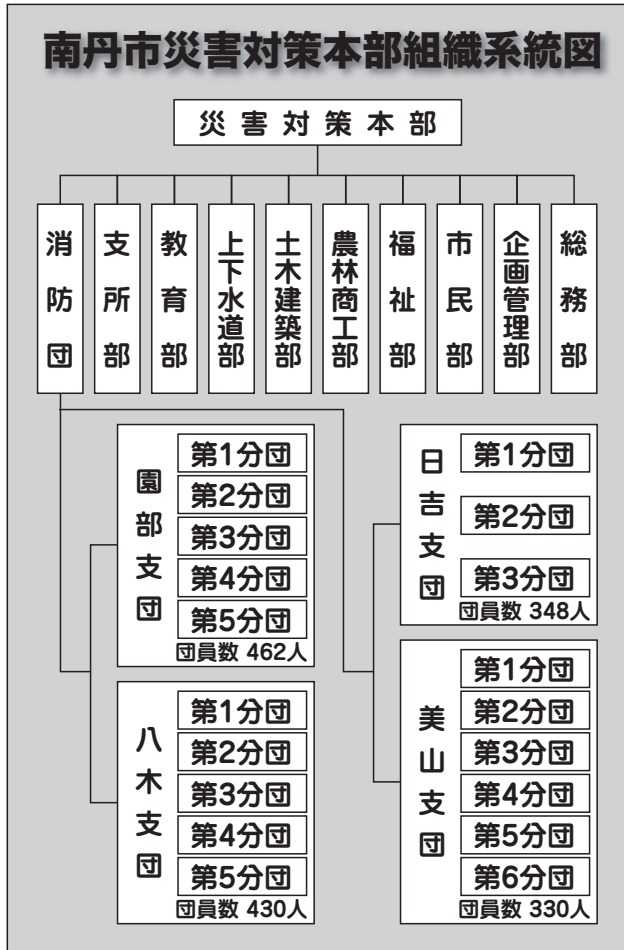
わが国の災害対策は、昭和34年、東海地方に大きな被害をもたらした伊勢湾台風をきっかけに制定された「災害対策基本法」に基づいて行われています。

「自助・共助・公助」の内、市役所や消防署などが担う「公助」として南丹市の防災対策を進める指針となるのが、「南丹市地域防災計画」。災害対策基本法に基づき、平成19年3月に南丹市防災会議に諮って策定しました。

地域防災計画

南丹市防災会議は、南丹市地域防災計画の作成・推進、災害に関

する情報の収集、水防計画の調査審議、災害応急対応にかかわる機関の調整などを目的に、市長を会長とし、京都府・消防・警察・そ



▲平成20年に改定した「南丹市地域防災計画」

災害対策本部の設置

大雨、洪水、暴風などの警報が発せられたときや大規模な地震または火災など、重大な災害が予想されるときは、「南丹市災害対策本部」を設置し、災害に備える体制をとります。

また、「対策本部」の設置に至

のほか地域公共機関の職員を委員として構成しています。

南丹市地域防災計画は、地域防災に関する一般計画編と震災対策計画編から成り、それぞれに災害の予防、応急対策、災害復旧に関する計画を定めています。南丹市の防災対策は、この計画に従って進めています。計画の内容は、毎年、市防災会議に諮り、修正を行います。

知っておこう 緊急地震速報

地震が発生し、強い揺れが始まる数秒前にテレビやラジオでお知らせする気象庁の「緊急地震速報」。震源に近いところでは、間に合わないこともあります。可能な限りすばやく知らせることで、少しでも被害を少なくするための情報です。

「緊急地震速報」を見聞きしたら…

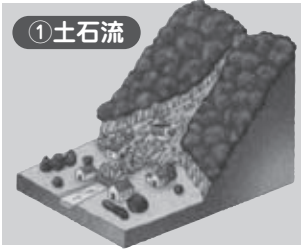
【周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する】

あわてて屋外へ飛び出さず、頭を保護し、机などの下に隠れてください。自動車運転中は、急ブレーキをかけず、ハザードランプを点灯し、ゆっくり停止をしてください。

らない場合でも、注意報などが発令され、被害が発生する恐れがあるときは、「警戒本部」を設置して、情報収集や状況の監視、警戒を行います。

知っておこう 土砂災害

土砂災害の多くは長雨や大雨が原因で起こります。1時間に20mm以上、または降り始めから100mm以上の降水量になったら注意しましょう。



①土石流

山の溪流から水と岩ともに大量の土や岩が流れ落ちる

大雨などでゆるんだ地盤が、突然がけ下に崩れ落ちる



②がけ崩れ

広い範囲で山の面が、山のふもとに落ちかかってすべり



③地すべり

避難情報の発令

市が発令する避難情報には、「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」の3つがあります。

「避難準備情報」とは、災害の危険が予想される段階で、非常持ち出し品の用意や家族への連絡など、避難準備を呼びかけるものです。また、お年寄りや体の不自由な人などに、災害の危険が高まる前に、早めの避難を呼びかけるものです。

「避難勧告」とは、人的被害の発生

生する可能性が明らかに高まった状況になり、住民に避難を呼びかけるものです。避難勧告が出たら、避難行動を開始してください。

「避難指示」とは、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況や人的被害の発生した状況で発令するものです。避難指示は避難勧告より緊急度が高く、直ちに避難を完了してください。

防災情報の重要性

地震や台風上陸などによる災害



▲各家庭に配備する受信機 (デジタル型)

防災行政無線は、防災や災害時の通信を確保するために整備された専用の無線通信システムです。災害が発生した際に予想される電話線の断線や、携帯電話の基地局

防災行政無線とは

が発生すると、避難に関する判断材料や生活圏の被害状況と今後の見通しといった身近で正確な情報が、私たちの生死を左右します。テレビやラジオ、インターネットでは気象情報や土砂災害警戒情報が放送されます。身の危険を感じたら、早めの避難で自分の身を守りましょう。また地震などで電話や電気などが遮断された場合には、防災行政無線が有効に活用できます。

の倒壊などによる公衆通信網が遮断された場合でも使用できるようなっています。

防災行政無線は、市役所の防災司令室や各支所から全受信機に一括して送信する以外に、グループ別に、旧町や小学校区、行政区の単位ごとに地域を限定して情報を届けることができます。

通信内容は、避難勧告や避難指示、地震、台風などに関する情報のほか、行政事務のお知らせなどにも活用します。各小学校や行政区に設置した端末からそれぞれの地域に対して、地域行事などの連絡を行うことも可能です。



▲市役所の防災司令室

防災行政無線の整備計画

市では全域に防災行政無線の整備を進めており、防災情報のお知らせや災害発生時の連絡体制の強化を図ります。すでに日吉町地域と八木町地域では、防災行政無線を整備しました。今年度から美山町地域、来年度以降に園部町地域でも整備を進めていきます。

また、特に台風や大雨が発生しやすい季節には、雨雲の動きや河川の状態など、ありとあらゆる情報を入手しながら、いざというときには避難準備情報、避難勧告および避難指示を防災行政無線などを通じて発信し、市民の生命と財産を守ります。

そのほかの防災情報

京都府のホームページでは各地の雨量、河川水位情報、土砂災害



▲(図①) 京都府・市町村共同統合型地理情報システムの携帯版QRコード。携帯電話で上記のバーコードを読み取るか、http://g-kyoto.pref.kyoto.lg.jp/mobile_gis/index.aspへアクセスしてください。

警戒情報が閲覧できるほか、京都府・市町村共同統合型地理情報システム(<http://g-kyoto.pref.kyoto.lg.jp/gis/usher.asp>)には避難場所と地図

が掲載されているので、災害に備えて近くの避難所を確認することもできます。(図①)

携帯電話のサービスでは、京都府の防災・防犯情報メール配信システム(<http://www.pref.kyoto.jp/shobo/mail.html>)で、登録者に気象情報(注意報・警報など)、防災情報(防災啓発情報や災害時におけるお知らせ情報など)などを配信しています。(図②)

ぜひ、活用してください。

ハザードマップを作成

市では今年度、防災ハザードマップ(危険個所分布図)を作成します。防災ハザードマップとは、河川が大雨で増水し氾濫した場合



▲(図②) 京都府の防災・防犯情報メール配信システムに登録するためのQRコード。携帯電話で上記のバーコードを読み取るか、anzen@k-anshin.pref.kyoto.jpに空メールを送ってください。

の浸水想定区域や、土砂災害などが起こりやすいような危険個所、各地域の避難所などが記されているもので、市民の皆さんに配布するものです。今年度中に作成して全戸配布しますので、いざというときの避難行動や防災活動に役立ってください。

学校施設の耐震化

市では幼稚園・小・中学校の耐震診断を平成18年度に実施しました。その結果、耐震補強をしなければならぬ建物12校25棟、改築の検討をしなければならぬ建物が2校2棟ありました。市学校施設耐震化検討委員会で検討いただき、平成21年度から7年計画で工事を行う予定です。

南丹市消防団の活動

南丹市消防団は、旧町ごとに組織された4つの支団、19の分団からなり、消防ポンプ車両16台、小型ポンプ90台などを地域に配備し、災害に備えています。

団員数は1,571人(4月1日現在 団長を含む)で、団員はひとたび災害が発生すれば、現場に駆けつけて消火活動や復旧活動に当たります。また、年間を通じて定期的に各種訓練や防災啓発活動



▲消防操法大会の様子(6月15日美山支団)

を行うなど、地道で多岐にわたる活動を行っています。

今年は2年に1度の京都府消防操法大会の年でもあり、各支団では大会に向けて訓練に取り組んでいます。

私たちができること

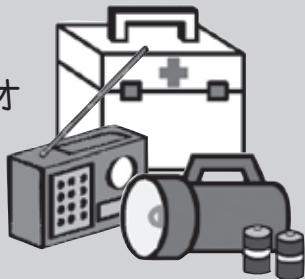
災害はいつ、どこで発生するかわかりません。だからこそ、日ごろから避難経路の確認や防災対策、素早く避難するための備えをしておくことが大切です。そして、いざ災害が起こったら、まず自分の命を守る行動をとってください。それから、地域や市と連携して被害を最小にとどめ、私たちのまちを守りましょう。

防災チェックシート

事前の備えがあれば、災害時の被害を小さくすることができます。各家庭で点検しましょう。

■持ち出す物（目安は3日分）

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 乾電池
- 医療品
- ろうそく
- マッチ・ライター
- 非常食
- 飲料水



- 缶切り
- ナイフ
- ロープ
- 着替え・下着類
- 携帯電話
- 現金・貴重品（公衆電話を利用することが多くなるので、小銭も用意しましょう）



■家族で確認しておこう

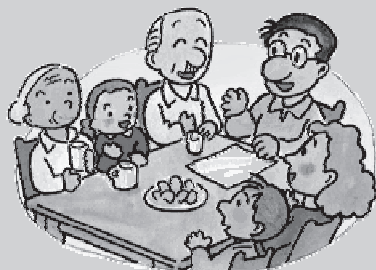
- 非常で持ち出すものの備えはあるか（懐中電灯やラジオの電池はあるか。非常食の消費期限 など）
- 避難場所と避難経路を確認している
- 家族が離れ離れになった時の集合場所・連絡方法を決めている
- 避難するときに、誰が何を持ち出すか決めている
- 預金通帳や保険証などは、消失する可能性があるので番号が分かるようにコピーをとるかメモをしている
- 消火器の場所を確認している
- 家具の転倒や落下の防止対策をしている
- 安全に避難できるように、家の出入り口には物を置いていない
- 家屋や家の周囲、危険個所の点検・補修をしている
- 近所で避難時に助けが必要な方がいるか把握している
- 防災訓練に積極的に参加している
- 防災情報の入手方法を知っている

家の近くの避難場所

確認した避難場所を記入しましょう。

()

※南丹市の避難場所については、広報なんたんの2007年8月号に掲載しているほか、市役所総務課（電話 0771-68-0002）にお問い合わせください。



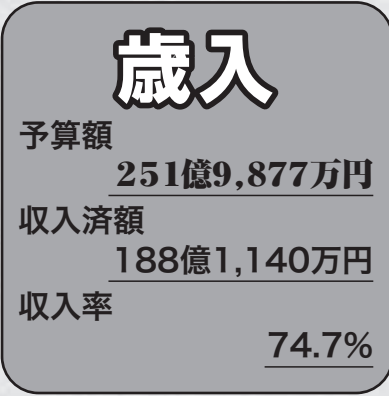
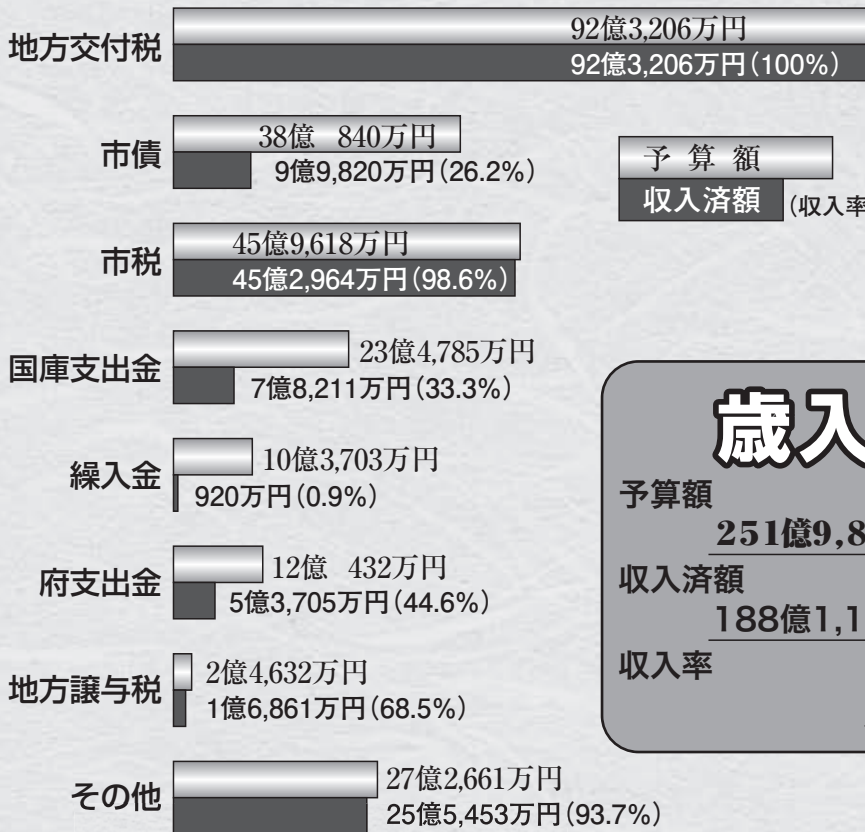
平成19年度予算

※繰越予算を含む
(平成20年3月31日現在)

下半期歳入・歳出執行状況

単位未満は四捨五入しています

一般会計 予算執行状況・歳入



市民の皆さんの税金がどのように使われ、市の財政がどのような状況にあるかを知っていただくため、財政状況を半年に一度公表しています。

今回は、平成19年度予算の執行状況、市民負担の状況などについてお知らせします。

なお、会計年度終了後の2カ月は現金の受け払いなどの整理を行います。

うための期間（出納整理期間）を設けています。そのため3月31日現在の執行状況の数値については、決算額と異なるものがあります。

市の借入金

小・中学校の校舎のように将来まで役立つ施設の建設費などを、次世代の人々にも負担していただくという考えに基づき、借り入れるものです。

借入現在高 **647億9,247万円**

一般会計 321億7,886万円
特別会計 305億8,913万円
企業会計 20億2,448万円

市民1人当たりの借入金 **1,831,227円**

うち交付税で補てんされる分（見込み）は340億円（53%）で、実質の市民1人当たりの借入金は869,529円となります。

市民の負担状況

1世帯当たりに使われる市のお金

1,877,842円



1世帯当たりが負担する税金（市税）

342,513円

市民（世帯）に使われるお金＝総予算÷人口（世帯数）
市民（世帯）が負担する税金＝市税予算÷人口（世帯数）

市民1人当たりに使われる市のお金

712,192円

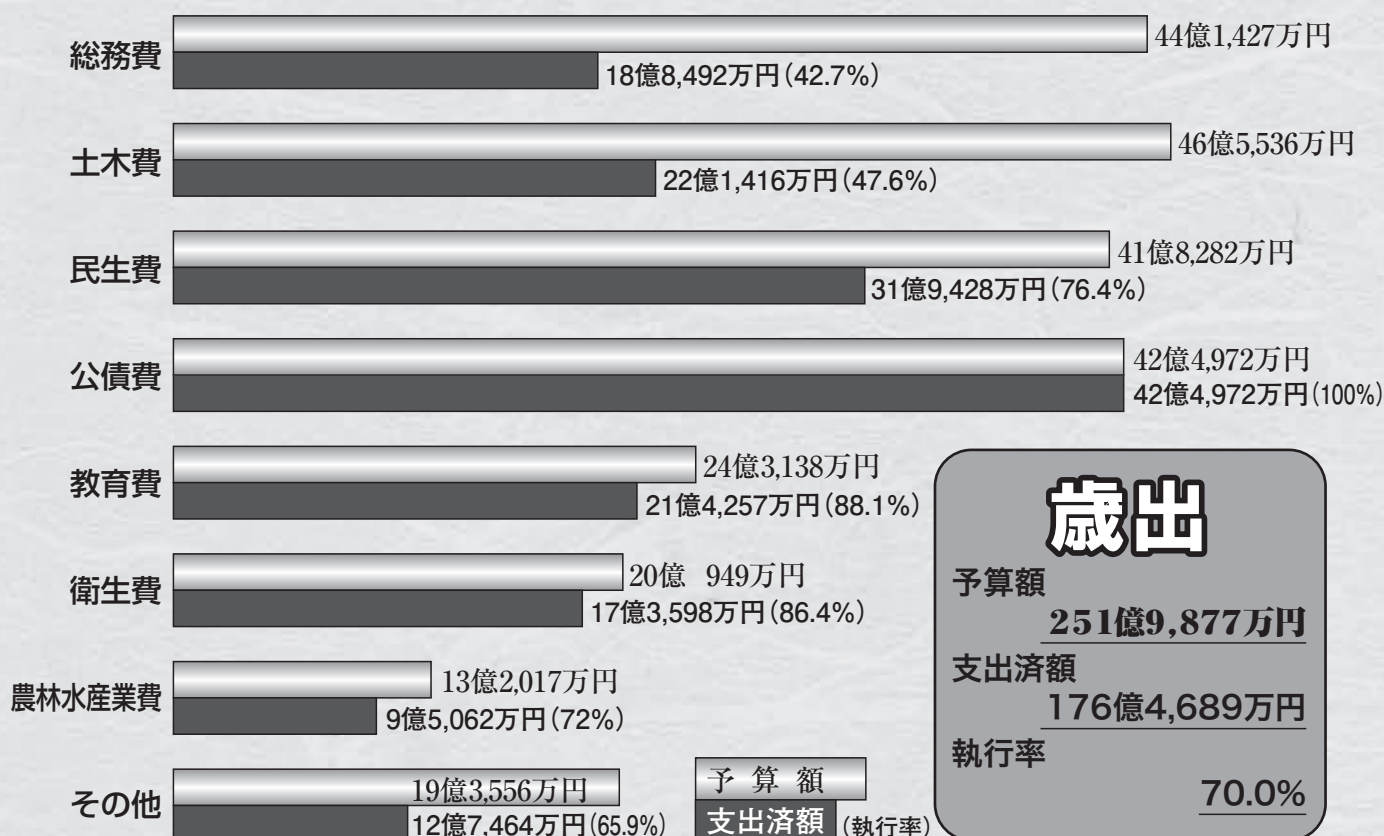


市民1人当たりが負担する税金（市税）

129,902円

※平成20年3月31日現在の人口35,382人、世帯数13,419世帯

一般会計 予算執行状況・歳出



特別会計 予算執行状況

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	35億8,050万円	28億8,980万円	80.7%	32億7,933万円	91.6%
老人保健事業	41億5,251万円	37億5,452万円	90.4%	38億3,745万円	92.4%
介護保険事業	28億5,560万円	24億7,215万円	86.6%	25億2,054万円	88.3%
市営バス運行事業	1億1,780万円	3,560万円	30.2%	1億 325万円	87.6%
簡易水道事業	11億6,316万円	5億6,422万円	48.5%	8億2,233万円	70.7%
下水道事業	37億6,904万円	10億4,061万円	27.6%	29億2,132万円	77.5%
商品券事業	4,939万円	2,027万円	41.0%	903万円	18.3%
土地取得事業	7億8,249万円	5億6,497万円	72.2%	5億6,348万円	72.0%

☎ 0771-680018
市役所財政課
【お問い合わせ先】

企業会計 予算執行状況

■上水道事業会計

区分	収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	執行率
収益的	4億4,711万円	4億5,167万円	101.0%	4億 298万円	3億7,943万円	94.2%
資本的	1億3,087万円	1億3,463万円	102.9%	3億6,618万円	3億6,203万円	98.9%

行財政改革の着実な推進のために

〔7月1日から「総合政策課」を新設〕

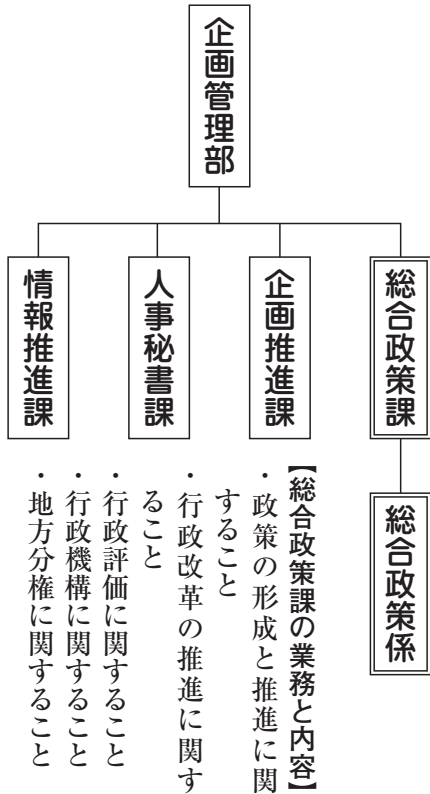
南丹市では行財政改革の着実な推進を図るために、一部行政組織を変更し7月1日から企画管理部内に新たに「総合政策課」を新設しました。

厳しい行財政状況の下で、昨年8月に市の行政組織の再編・強化を図ったところですが、さらに行財政改革を推進するために設置するものです。

「総合政策課」は、行財政改革推進部門とともに重要な政策の企画立案部門と位置付け、業務を開始しました。

今後は、市の政策を立案する過程を透明化するとともに、情報公開を徹底するなどして、市民協働を進め、市の行財政システム全般の見直し作業に着手します。

企画管理部の組織図



5月9日発行の「広報なんたん4・5月号」に掲載した内容に誤りがありました。お詫びし、訂正します。

- お詫びと訂正**
- 7ページ
中央写真キャプション
・[誤] 芦生(あしゅう)⇒[正] 芦生(あしう)
 - 9ページ
一般会計 円グラフ(歳入)
・[誤] 自主財源 ⇒ [正] 依存財源
・[誤] 依存財源 ⇒ [正] 自主財源
・[誤] 国庫支出金 ⇒ [正] 国庫・府支出金
 - 13ページ
小・中学校耐震補強設計委託
・[誤] 殿田小学校 ⇒ [正] 殿田中学校
 - 14ページ
企業支援事業(工場誘致事業奨励金)
・[誤] 3億0,800万円 ⇒ [正] 3億0,080万円
 - 15ページ
南丹地区農用地総合整備事業負担金
・重複により削除
 - 26ページ
日吉ダムマラソン大会の記録
・[誤] ハーフ女子40歳未満
堀口真由美 1時間36分48秒
⇒ [正] ハーフ女子40歳未満
外峯 陽子 1時間35分26秒
・[誤] 未記載
⇒ [正] ハーフ女子40歳代
堀口真由美 1時間36分48秒

まちづくりは市民の皆さんとの対話から

－17会場で地域別市政懇談会を開催－

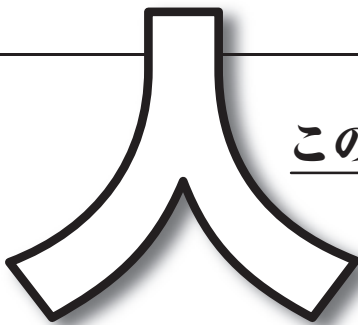
南丹市のまちづくりの方針を市民の皆さんに伝え、市長の施政にご理解をいただくとともに、市民参加のまちづくりを推進するため、「市政懇談会」を開催します。

市民の皆さんとの対話を通じ「市民の参画と協働」によるまちづくりを一層進めることを目標として、7月下旬から8月下旬に小学

校区単位の地域別17会場で市長などがお伺いします。

今回のテーマは「南丹市総合振興計画の実施と行財政改革の推進について」です。

開催日時と会場については、お知らせなるとん第60号(7月11日発行)に掲載しています。皆さんの参加をお待ちしています。



春の叙勲
褒章受章者



「木材産業の振興に貢献」

黄綬褒章

中坂 昭さん(日吉町・79)

昭和45年から株式会社北桑木材センター代表取締役社長や同会長を歴任され、地元木材の素材市場を開設されるなど、京都府の木材産業振興のために尽力されました。

また、地元木材の販売ルートの拡大や地域の林業振興に貢献。地元木材ブランドの普及と地域の振興に大きな成果を挙げられました。



「献身的な高齢者介護に寄与」

瑞宝双光章

下面 春江さん(園部町・60)

昭和51年から長年にわたり、特別養護老人ホーム・養護老人ホームの調理員および介護職員として老人看護に尽力されています。その献身的で慈愛に満ちた介護は、在園者の誰からも慕われるとともに、豊かな経験から同僚職員らの模範として、高齢者福祉の向上にも努められています。

危険事務従事者叙勲



「府民の安心・安全に尽力」

瑞宝単光章

近藤 次男さん(日吉町・76)

京都府警察本部通信指令課や旧園部警察署などで長年にわたり、府民の安心・安全を守ってこられました。現在は警察官OBの経験を生かし、子どもたちの安全を守るスクールガードリーダーとして小学校区の巡回指導などの活動に貢献されています。

総務省近畿管区行政
評価局長表彰を受賞



麻田 勝司さん
(八木町・70)



日下部純子さん
(園部町・68)

行政相談委員の麻田勝司さん・日下部純子さんが、総務省近畿管区行政評価局長表彰を受賞されました。

総務省京都府行政評価事務所
所長より感謝状を贈呈



田中 信夫さん
(日吉町・66)

行政相談委員の田中信夫さんが総務省京都府行政評価事務所所長から感謝状を贈られました。

行政 トピックス

東洋医学のスペシャリスト
として地域の医療に貢献

— 明治国際医療大学スタート —

およそ800人が学ぶ明治鍼灸
大学（日吉町保野田）が今年4月
から「明治国際医療大学」に大学
名を変更されました。

同大学は、昭和53年に明治鍼灸
短期大学として開設。昭和62年に



▲4月から明治国際医療大学に名称を変更



▲日吉ダムマラソンでランナーをサポートする学生ら

は、歯学部以外では日本初の大
学附属病院を設置されました。創
立30周年を機に、東洋医学に関し
て国際的にも卓越した教育研究拠
点となることを目指し、大学名を
新たにされました。

最近、鍼灸、柔道整復分野では
スポーツトレーナーやスポーツ選
手のケアに必要な資格の取得を目
指す学生が増加しています。大学
の特長を生かし日吉ダムマラソン
では、教員スタッフや学生がスポ
ーツケアコーナーを設置。けが予
防のためのストレッチ指導や競技
後の疲労炎症へのアイシングなど
が行われました。

今後も教育研究機関の役割とと
もに地域医療の一翼を担う活動を
展開されます。

地元雇用の人材確保に
口丹波の企業がアピール

— ものづくり産業就業フェア —

5月26日、口丹波地域で操業す
るものづくり企業を紹介する「も
のづくり産業就業フェア」が府立
口丹波勤労者福祉会館（八木町西
田）で開かれました。

府南丹広域振興局が企画し、初
めて開催された同フェアは、23社
の出展企業ごとにブースを設置。
学校の就職指導者や就職活動中の
学生らが、優れた技術や製品の内
容や、雇用計画などの説明に聞き
入っていました。



▲企業の担当者から説明を受ける参加者



▲輪をめぐってフライングディスクを投げる参加者

自分のペースで伸び伸びと
体を動かし楽しくスポーツ

— 障害者ふれあい広場 —

5月18日「第42回障害者ふれあ
い広場」が府立丹波自然運動公園
（京丹波町）で開かれました。

障がいのある人の社会参加を促
し、交流を深めることを目的に開
催された大会に、南丹市からはお
よそ140人が参加。フライング
ディスク投げや大玉転がし、玉入
れなど、参加者は自分のペースで
伸び伸びと体を動かして競技を楽
しみました。結果は、南丹市・京
丹波町の合同チームが昨年に続け
て優勝しました。

多様化する福祉ニーズに 協力して活動を行う

―南丹市民生児童委員協議会総会―

5月27日、南丹市民生児童委員協議会総会が市国際交流会館で開かれ、民生児童委員96人が出席しました。総会では中川晃会長が「多様化する福祉ニーズに対して、協力をして活動を行いたい」とあいさつ。今年度の事業計画などが協議されました。

総会後には、佛教大学社会福祉学部の岡崎祐司教授による「地域福祉について」と題した講演が行われ、民生児童委員としての市民との関わり方などが話されました。



▲地域福祉について講演をされる岡崎教授



▲総代にあいさつをされる武田会長

地域の特徴や特性を生かして 商工会員を支援していく

―第一回 南丹市商工会
通常総代会―

5月26日、南丹市商工会通常総代会が市役所八木支所の文化ホールで開かれました。

南丹市商工会は今年4月1日に発足され、今回が発足後、初の総代会となりました。

初めに武田晏和会長が「地域経済の厳しい時代ではあるが、地域の特徴や特性を生かしながら、委員の支援をしていきたい」とあいさつ。その後、今年度の事業計画などの議案が承認され、南丹市商工会としての事業が本格的にスタートしました。

環境に優しい循環型農業で 安全・安心な農産物を生産

―美山有機農業推進協議会
設立総会―

5月29日、美山有機農業推進協議会設立総会が市役所美山支所で開かれました。

同協議会は、自然環境豊かな美山町から有機農業の取り組みを推進し、安全・安心な農産物の生産を展開するため設立されました。

総会では市原秀一代表が「化学肥料などを使わないで、環境に優しい『循環型農業』を進めていきたい」とあいさつ。また、協議会設立の規約や事業内容について話し合われました。



▲有機農業の取り組みを進める協議会が設立



▲市の担当者らがごみ処理の現状や処理方法を説明

地域づくりを担う方々に 事業や施策を説明

―出前講座を開催―

5月26日、南丹市地域づくり出前講座を美山町安掛集落センターで行い、安掛婦人部と生活部の22人が参加されました。この日は、南丹市におけるごみ処理の現状や処理方法について市役所や船井郡衛生管理組合の担当者から説明。ごみの分別や減量の必要性について話しました。

市では市民の皆さんの地域づくりに役立てていただくため、申し込みに応じて地域に向き、市の事業や施策などを説明します。

いぎいぎ南丹

-26-

お元気ですか？
保健師です。



食中毒にご用心

正しい知識と適切な対応で防げます

家庭での注意が大切です

食中毒の発生件数が最も多いのは飲食店ですが、それに次ぐのが家庭です。家庭での発生は、私たち一人一人の正しい知識と適切な対応で防げます。

食中毒の原因

食中毒の原因は細菌やウイルスが人へ感染することで起こります。細菌やウイルスは食品に容易に紛れ込むことができ、短時間で何万倍にも増殖します。

また、ほかの人につつてしまい、被害が大きくなってしまったり、被る人が少なくありません。食中毒は正しい知識で防ぎましょう。

食品を安全にする5つのポイント

- ①調理器具を清潔に保つ
手洗い、まな板・包丁など調理器具の洗浄、消毒、防虫で、細菌やウイルスなどを繁殖させない。
- ②異なる食材は分けて取り扱う
まな板・包丁は加熱済み用、生食用など用途にあわせて使う。
- ③食品はよく加熱する
加熱が必要な食品はよく加熱し、調理済み食品もよく再加熱をする。
- ④食品を安全な温度に保つ
調理済み食品を室温で2時間以上放置しない。
- ⑤安全な水と材料を使用する
野菜や果物など生で食べる食材をよく洗う。消費期限を過ぎたものは食べないようにする。

調理する人の注意

【台所・調理器具のお手入れ】

台所は清潔が第一。いつもきれいにしておきましょう。生ゴミは早めに処理し、三角コーナーもこまめに洗いましょう。ふきんやまな板、スポンジ、タワシは小まめに熱湯消毒をし、乾燥させましょう。

【お弁当を作るとき】

新鮮な材料を使い、よく火を通して、その日のうちに調理したものを使いましょう。ご飯は冷ましてから詰め、容器や包装は通気性のあるもので工夫をしましょう。

【冷蔵庫で保存するとき】

夏は外気温が上がり、冷蔵庫の開閉回数が増えると温度調整が十分できなくなります。冷蔵庫の中身は容積の7割くらいにとどめ、温かいものは粗熱をとって入れるようにしましょう。冷蔵庫の過信は禁物です。

こんな症状があったら...

吐き気・嘔吐、腹痛、発熱、下痢、神経症状（目のかすみ、しびれ、めまいなど）など、原因が見当たらないのにこのような症状があるときは、お医者さんにかかりましょう。



【お医者さんに報告すること】

どんな症状があるか、吐いたものや便の様子、いつ・どこで・何を食べたか、食べたものの残りがあればそれを見せる。一緒に食事をした人に同じ症状があるかなどを報告します。

【つてはいけないこと】

素人判断で下痢止めや吐き気止めを飲んではいけません。かぜと似た症状の場合も、勝手に判断してかぜ薬を飲まないようにしましょう。

【応急手当の仕方】

嘔吐があるときはそのまま吐かせて安静にする。寒がるときや手足が冷えているときは保温を。嘔吐や下痢が激しいときは水分を補給して脱水症状を防ぎましょう。



自然の恵みたっぷり、美山に「紫の宝石」実る

～ブルーベリー美山～

(菅井農園)

紫色の実が鮮やかに色づき、収穫が始まる7月。美山産ブルーベリーの新鮮な実が美山町安掛の「ふらつと美山」に並びます。

平成15年、平屋振興会のものづくり講座をきっかけに「ブルーベリー美山」が発足。美山の風土に合い、趣味と実益を兼ねた農業・観光の活性化を目指す特産品づくりとして、ブルーベリーの栽培が始まりました。会員は現在21軒。鉢植えや農園など、それぞれに合った形で栽培し果実を収穫、ジャム加工などに取り組まれています。

「ブルーベリー美山」の代表を務める渋谷清孝さんは、自家農園での栽培、技術や生産拡大の研究を積極的に行っておられます。ブルーベリーは経費や労力が比

較的少なく、無農薬でも栽培ができる果実だそうです。酸性の土地を好むのでピートモスという

土壌改良材を使い、乾燥を防ぐために根元に厚くバーク(木くず)を敷いて栽培されます。春にはスズランのような白や桃色の花を咲かせ、夏には実が緑から赤、そして紫へ。秋には葉が真っ赤に紅葉し、一年中楽しめます。「ブルーベリー美山」のジャムは、酸味料やゲル化剤(凝固剤)など



▲1粒ずつ紫に色づいていくブルーベリーの実

は入れず、素材そのままの味を大切に、実とグラニュー糖のみで加工されます。市販のジャムの多くは輸入された実が使われているそうです。美山の恵みがたっぷり詰まったブルーベリージャムの瓶詰めは、ひと夏の収穫で千本を目標に作られています。

荒れやすい不耕作地を利用することで農村の環境も守られ、地域全体が活性化するように、今後ますます栽培の輪を広げてブランド化することを目指されています。



▲会員が集まり、大鍋でジャム加工



「ブルーベリーパイ」

【材料】

- レンジで簡単ブルーベリージャム
ブルーベリー (50g)、グラニュー糖 (30g)、
レモン果汁 (好みで少々)
- ブルーベリーパイ (2個分)
ブルーベリージャム (大さじ2)
市販の冷凍パイ生地シート (1枚)
ブランデーやラム酒 (好みで少々)
卵黄 (少量)

【作り方】

- レンジで簡単ブルーベリージャム
- ① 深めの耐熱容器にブルーベリーとグラニュー糖を入れて混ぜる。
- ② 電子レンジで1分～1分30秒加熱する。
- ③ 好みでレモン果汁を混ぜる。
- ブルーベリーパイ (2個分)
- ① ブルーベリージャムに、好みでブランデーやラム酒を少し加える(香り付け)。
- ② 室温で解凍したパイ生地シートを4等分に切り、2枚の中央に切り目を入れる。
- ③ 切り目のない2枚の中央に、大さじ1程度のジャムをのせ、切り目のある方をそれぞれ上にかぶせる。
- ④ 生地合わせ部分をフォークの背で押さえて閉じる。
- ⑤ 卵黄を生地表面にハケでぬり、200℃に熱したオーブンで15分程度、キツネ色になるまで焼く。

ブルーベリー美山 代表 渋谷 清孝
TEL: (0771) 75-1048

各図書館の開館時間

(休館日) 毎週月曜日・祝日

中央図書館：9時～17時

八木図書室：10時～18時・(日曜)10時～17時

日吉図書室：9時～18時・(土・日) 9時～17時

美山図書室：9時～17時・(金曜のみ)11時～18時



イメージキャラクター“なびと”

図書館へようこそ!

No.11



▲いろいろな手作りの貸出袋があります

日吉図書室では、図書などを入れる貸出袋を利用いただくサービスがあります。この貸出袋は「ちくちくボランティア」で作っていただいています。

図書や資料の冊数、大きさに合わせたさまざまな手作りの貸出袋は、借りた本を持ち運びしやすくなります。「家でも借りた本を入れておくと無くさない」と、利用者の皆さんに喜んでいただいています。

この貸出袋のサービスは、布の提供や、袋に仕立てる方々のボランティアにより、10年近く続いています。

貸出袋とちくちくボランティア



▲図書室に飾るぬいぐるみも作られています

毎月第2金曜日に日吉町生涯学習センターに集まって「ちくちくボランティア」に、貸出袋などの制作をしていただいています。また、図書室に飾る季節の飾り物や、おはなし会で使用するぬいぐるみの制作なども行っています。

今後、ご協力していただける方が増え、南丹市全域で貸出袋のサービスができればと思います。興味のある方は、日吉図書室へお問い合わせください。皆さんのご参加・ご協力を、お待ちしております。

新刊紹介



『全訳源氏物語 新装版』
(1～5巻)

著：紫式部
訳：與(与)謝野晶子
発行：角川文庫

源氏物語千年紀であり、与謝野晶子が誕生して130年の今年、37年ぶりに“与謝野源氏”がよみがえりました。



『心に吹く風』

著…伊藤謙介
発行…文源庫

京セラの社長を経て、現在は相談役である著者が、思いつくままにつづった、未来の経営者と若者たちに贈るメッセージです。



『おはようきょうりゅう』

文…木坂涼
絵…福岡昭二
発行…教育画劇

木立の中に朝の光が伸びていき、恐竜たちにあたりだす…。子どもたちの大好きな恐竜たちの姿を美しいイラストで描いた絵本です。

「人の良さを発見する名人に」



川 辺小学校の児童に

は、自他共に認める数々の名人がいます。それは、絵や計算力や、歌や字の美しさであったり、縄跳びや野球などのスポーツであったりときまざまですが、中には人の良さを発見する名人も多くいます。よく見てみると、その子どもたちの会話のトーンはいつも前向きで明るいことを感じます。また、困っている人や悩んでいる人には機敏に反応して、優しい声かけをしてくれている場面をよく見かけます。

誰しも、他人の欠点や弱さを見つけることは容易ですが、ともしれば、良さを素直に認めることは大人になるほど難しくなってきました。

昨 今、「勝ち組・負け組」など二極化した倫理観が子どもたちに影響していることが気がかりです。物事を「勝ち負け」「優秀」「損得」でしか判断できない子どもたちが増加していることに危機感さえ感じます。

また、テレビや雑誌をはじめ、学校や家庭、地域での言語環境が

子どもたちに与える影響は大変大きいものがあると実感します。

「他人の悪口。暴言。うわさ話。人をけなす。ひそひそ話。愚痴や不満」などがいつも話題になる学校や家庭、地域なのか、「人の良さや頑張り」を認める。人を褒める。生き物を大切に「する」などが多い学校や家庭、地域なのかを大人の責任として振り返ってみることが大切だと痛感します。誰もが持つストレスの解消方向が問われているのではないのでしょうか。前向きなプラス思考の学校や家庭、地域には人を大切に「する」心が自然に育つていくのではないのでしょうか。

人の良さを発見する名人の子どもたちには、明るく前向きな会話が交わされる家庭の姿が重なって見えます。

(川辺小学校 校長 今西 徹)



環・境・市・民
 ~環境にやさしい生活 始めましょう~
 eco drive
 ー第2回ー

さあ始めよう!

家庭でできる省エネ②

—自動車編—

自動車は家庭や日常生活において、地球温暖化の主要な原因とされる二酸化炭素(CO₂)の排出量の、最も多くを占めています。

好きな時間に好きな場所へ移動ができる自動車は大変便利ですが、消費される燃料は相当な量です。

逆に言えば、少し車の利用を控えたり、エコドライブを心掛ければその効果は非常に大きなものになるのです。

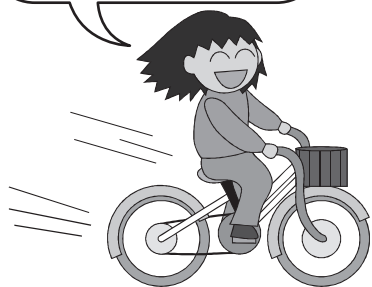
燃費の向上に努め、燃料の浪費を防ぎましょう。



エコドライブのススメ

- 普段の発進より少し緩やかに発進する(最初の5秒で時速20*が目安)
- 加減速の少ない運転を心掛ける
- エンジンブレーキを有効に使う
- エアコンの使用を控えめに
- アイドリングストップ
- タイヤの空気圧を小まめにチェック
- 不要な荷物は積まずに走行
- 道に迷わないように出かける前に目的地をしっかりと把握

短い移動は徒歩や自転車を使おう!



(環境課)

京都府開庁140年を記念した「京都府開庁記念日記念式典」で、NPO法人京都伝統工芸活動支援会「京都匠塾」が、行政、学校、地域団体と連携しながら、京都伝統工芸や地域文化の活性化に貢献したとして「新世紀かがやき交流賞」を受賞。

また、株式会社高屋組が、住宅の耐熱・遮熱性能を向上し、省エネを安価に実現する「ウレタン遮熱工法」の開発、普及に努めたとして「環境トップランナー」を受賞されました。



▲京都匠塾の高橋博樹さん(左)と株高屋組の高屋博文さん(中央)

「新世紀に輝く！トップランナー」南丹市2団体の取り組みを評価

(6/19 開庁140周年「京都府開庁記念日記念式典」)

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



国体京都府予選会や近畿高校選手権など5つの大会を兼ねて行われる「美山サイクルロード」が、市役所美山支所前を発着とする1周10.1kmの周回コースで行われました。

同コースを半周、1周、2周、4周、7周する計15種目があり、午前8時45分から種目ごとに選手たちが力強くスタートしました。

九鬼ヶ坂峠を越えるため高低差が110mあり、選手にとっては厳しい峠の攻略や集団を抜け出すタイミングが勝敗を決めます。同コースは全て公道を使っており、地域住民の協力で1,000人の参加者の快走をサポートしました。

1周を約16分で走り抜くスピードとスリルあふれる競技に、沿道では大勢の方々が声援を送りました。

「1,000人が山里を駆け抜ける」

(5/25 2008美山サイクルロード)



▲一般公道を高速で駆け抜ける自転車は迫力満点

「ツヤツヤの笑顔で清水寺へ」

(5/3 大黒天像の一般公開)



◀修復が完了し笑顔が戻った大黒天像

京都伝統工芸大学校(松村賢治校長)で行われていた清水寺(京都市東山区)の大黒天像(像高113.1cm木造)の修復作業が完了。その姿を一目見ようと多くの市民が同校を訪れました。

長年、さい銭を浴び続けたために、表面の漆がはがれ、木地が露出していた大黒天像は同校の講師や学生らの手で、ツヤのある優しい顔に修復されました。5月6日には清水寺で大黒天像の「修復開眼法要」が営まれ、元の場所に安置されました。

「つくろう地域守ろうかやぶき」

(6/2)「美の里つくりコンクール」農林水産省農村振興局長賞

地域の自主的な取り組みで農山漁村の美しい景観が保全されている、優れた活動を表彰する第3回「美の里つくりコンクール」(農林水産省主催)で、美山町北地区の「かやぶきの里保存会」が農林水産省農村振興局長賞を受賞されました。かやぶきの里の愛称で、全国的に有名な北地区では地元住民全員が会員の保存会を組織し、景観の維持管理や観光客へのボランティアガイドなどを行ってられます。



▲市長に受賞を報告される中野忠樹さん(中央)と中野邦治さん(左)

「かえるポイントでおもちゃゲッツ」

(4/29)氷室の郷「わんぱくDAY」



▲使わなくなったおもちゃを交換する「かえっこバザール」

氷室の郷では、子どもたちに美しい地球を残すため、わんぱくDAYを「ごみゼロの日」として取り組みました。

「かえっこバザール」では、使わなくなったぬいぐるみや絵本などを参加者が持参、店員役の子どもが品定めし「かえるポイント」と交換。参加者はポイントを貯めて好きな品物と交換しました。また、店員役の子どもが3ポイントを超える価値があると判断した品物は、オークション形式で物々交換を楽しみました。

「自然豊かな畑郷の魅力を感じ」

(6/8)畑郷ふれあい農園「植付祭」



▲農園内の池でアユのつかみ取りを体験

日吉町畑郷にある農村公園「畑郷ふれあい農園」(畑郷ふれあい広場・農園委員会主催)で植付祭が行われました。農村と都市との交流を目的に、自然豊かな畑郷で農業体験をしてもらおうと始まったイベントは、14年目を迎えます。京阪神から参加した約130人が農作業に汗を流しました。

参加者らは、田植えやサツマイモの植付け作業、アユのつかみ取りなどを体験。また、昼食には、地元で採れた野菜がふんだんに使われており、自然の恵みをかみしめていました。

「田植えや合宿…野外活動がんばるぞ」

(5/18)なんたんわくわくキッズ

豊かな環境の中でのさまざまな体験を通して、感性をはぐくみ、ものを深く見つめる力を培うことを目的に野外活動を行う「なんたんわくわくキッズ」(市教育委員会主催)の開始式を旧五ヶ荘小学校(日吉町四ツ谷)で行いました。

夏休みに同校舎で2泊3日の合宿を行い、川遊びや星座観察などを行うほか、年10回程度の活動を行います。市内の小学校4~6年生67人が申し込んでおり、この日は、地元の北井嘉辰さんの田んぼで田植えを体験。秋の収穫を楽しみにしながら苗を植えました。



▲泥んこになって田植えを体験

なんたんミュージアム

―南丹市立胡麻郷小学校―

※担任の先生、担当教科の先生の講評を掲載しています。

「大きな木」

西村 菜穂さん（1年）



▶「こんな木があったら楽しいだろうな」夢いっぱい楽しい絵が描けました。

「習字」野林 俊貴さん（3年）



▶毛筆の書写の2つ目の字です。書き始めの筆の置き方が上手で、元気よく書きました。

「ゆめいっぱいゆめいっぱい」

澤島 陽太郎さん（2年）



▲サッカー選手になって大観衆の前でゴールを決めるという夢が伝わってきます。

「習字」塩内 翔太さん（6年）



▶文字の組み立てをとらえ、3つの部分のバランスを考えて書けています。

編集後記

人事異動により、今号をもって広報なんたんの筆を置くことになりました。南丹市誕生から2年半、市民の皆さんに南丹市のことをより知っていただきたい思いで、取材をさせていただきました。取材でお世話になった皆さん、ありがとうございました。引き続き、新体制の下での広報広聴活動をよろしく願います。

(S)



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ
森・里・街がきらめくふるさと 南丹市



●総人口：35,379人(-45)
(男：17,064人・女：18,315人)
(-19) (-26)
●世帯数：13,532世帯(+6)
(平成20年6月1日現在)
()内は前月比



●園部町 吉岡

いつき 樹生くん (5歳・右)
あおい 蒼生くん (3歳・左)
こうせい 滉生くん (9ヵ月・中央)

「兄弟仲良く、元気に育ってね」

(父・母より)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは情報推進課広報広聴係まで